

すくわくプログラム

年齢と性別を超えた人と人との関わり



お散歩に行く時、お兄さんお姉さんに小さい子と手をつないで歩くように声をかけたり、小さい子をトントンしてもらったり等、小さい子と繋がりを持てるきっかけをつくりました。



小さい子の見本となってゆっくり手を洗う大きい子



年齢を気にすることなく遊ぶ子達



どうしてほしいのかな？

どうしたらよろこんでくれるかな？

相手に合わせる行動をする姿、相手を思いやる行動が見られる様になってきました。



保育者が何も言わなくても自分達で手を繋ぐ子を決めて相手に合わせて歩く子



お話する時、自然と視線を合わせる子達

小さい子が大きい子の真似をする姿が多く見られるようになってきたので、バランスストーンを購入してみたり、活動にリトミックを取り入れることによって、最初は見ていただけの小さい子も一緒に体を動かすようになりました。また、大きい子と図鑑をみたり、真似して動物を覚えるようになっていきました。

感想

子ども達の変化を見ていくと、年齢という概念にとらわれる事なく、おとも達自身をみて、関わっていく姿を見ることができました。また、小さい子や成長がゆっくりな子達の探究心が、自然な子ども達同士の関わりで芽生えていく様子も見られました。



トントンしてあげる小さい子言われるがまま横になる大きい子

お兄さんお姉さんの真似をして色々な事にチャレンジする子

